



酒匂の清流

令和4年11月15日(火)発行

校長 津田 将美

寄小学校の友だちと共に

「席はここだよ！」

10月28日の朝は、寄小学校の友だちを迎え入れる明るい声が飛び交いました。1年ぶりの再会を松田小学校の子どもたちも楽しみにしていたようです。

寄小学校の子どもたちは、少し緊張気味の表情でしたが、それぞれ指定された席に座りました。いよいよ年に一度の交流授業のスタートです。

それぞれの学年で、交流に合わせた工夫された授業が展開されています。寄小学校の先生方の授業は子どもたちにとって新鮮だったようで、いつも以上に真剣に話を聴き、しっかりと反応していました。それは、松田小学校の先生から授業を受ける寄小学校の子どもたちにとっても同じだったでしょう。

国語や算数だけではなく、体育や音楽、図工、道徳などの授業もあり、共に活動することで、松田小も寄小も同じ教室の風景の中に溶け込んでいきました。

給食は、松田小学校自慢のカレーライス。それぞれの教室で、素材の味を楽しみながら味わっている様子がうかがえました。愛情のこもったおいしい給食をじっくり味わう、という意味では、黙食もまたいいものなのかもしれません。

寄小学校の子どもたちは、自分たちの学校が大好きで、仲間をととても大切にしています。もちろん、松田小学校もそれは変わりませんが、小規模の良さを肌で感じながら日々、密度の濃いぬくもりの中であたたかい人間関係を築いています。そういう子どもたちの良さを松田小学校の子どもたちが感じているからこそ、朝のような明るい歓迎の言葉がかけられるのだと思います。

寄小学校の子どもたちも、松田小学校の明るくあたたかい雰囲気を感じてくれたのではないかと思います。とてもいい交流ができました。

それぞれの良さが交差する、素敵な一日でした。

これから1年間、それぞれの学校で一生懸命学び、遊び、活動をして、ひと回りたくましくなった姿が見られるといいな、と思います。

また、来年元気に会いましょう。



河川敷グラウンドいっぱいに広がる寄小学校と松田小学校の子どもたち。富士山も雲の向こうから見えています。



横断歩道にて

朝の通学路、いつものように子どもたちや地域の方に気持ちのいいあいさつをたくさんもらって、酒匂川のほとりに出ました。秋の空気の心地よさを感じながら、十文字橋へと出ました。道路を渡って、学校へ向かおうと、横断歩道の手前で止まりました。私に気付かなかったのか、車が1台通りすぎました。止まってくれなくても、いらいらしません。

そこへ、一人の中学生が来ました。次の車が止まってくれたので、中学生に渡ってもらってから、私も止まってくれた方にお礼を言って横断歩道を渡りました。

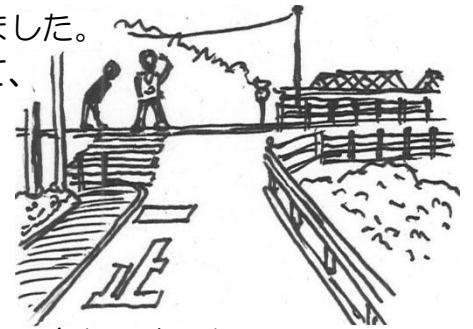
渡り切ったところに、中学生が待っていてくれました。そして、「ありがとうございました。」

と気持ちのいいお礼の言葉をもらいました。

ほのぼのとしたあたたかい気持ちが湧いてきました。

当たり前のことのようでも、やはりあいさつは、人と人との心をつなぐ大切なものだと思えて感じました。

秋の風のさわやかさに負けなくらいさわやかな気分で、学校に向かいました



On-line 工場見学

11月4日に、5年生が日産自動車追浜工場のオンライン見学を実施しました。実際にライブで学校と工場をつなぎ、現在生産されている工場の様子を見学することができました。説明がとても丁寧でわかりやすく、教師からは、

「現地に行くよりわかりやすい」

との声も…。

本物を観るということも、とても貴重な学びになります。コロナ禍の中で、このような学習を提供して下さることがとてもありがたかったです。

見学が終わった後は、質問にも丁寧に答えていただき、正に本物の工場見学と変わらないプログラムとなりました。質問した子どもたちも、自分たちの疑問をすぐにその場で答えてもらって、満足そうでした。

最後に、後日いろいろなプレゼントを一人ひとりに郵送していただけることを知り、子どもたちもうれしそうでした。

日産のミニカーがいただける、と分かった時に一番歓声が上がりました。

至れり尽くせりのオンライン工場見学、ありがとうございました。



ぺこちゃん公園に行ったよ

集合した1年生は、笑顔いっぱいです。もう楽しみで仕方ないようで、目がキラキラと輝いていました。



3年ぶりの実施となった1年生の遠足は、秦野中央こども公園（通称ぺこちゃん公園）です。「校長先生、行けなくてかわいそうだね。」と声をかけられながら見送りをしました。とても楽しく活動的な一日を過ごせたようです。

帰ってきた表情もまだまだ元気で、袋いっぱいにつまったどんぐりを誇らしげに見せてくれました。公共交通機関を使って様々な配慮をしながら、連れて行ってくれた職員に感謝です。何よりも、子どもたちの笑顔が、私たちの明日への活力になります。

18日には、同じ場所に2年生が行きます。私も連れて行ってもらえるので、楽しみです。

